

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

資料2

1 公民館名 中央 公民館

2 重点方針

1. いきいきとした人づくりの拠点となるよう、寄りやすい地域の居場所としての機能を充実させる。
2. 地域の方が、生きがいをもち、豊かな人生を送ることができるよう、楽しく学ぶための場・機会・情報を提供する。
3. 地域の親子が幸せに育つ場・機会・情報を多く提供する。
4. 利用者との協働による公民館運営を目指す。
5. 生涯学習の拠点として、安全安心に、快適に施設を利用してもらうための改修を行う。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	地域の絆づくり	“学び、活かす市民づくり”を実現するための学習機会を提供する。	・地域づくり型学習講座である【地域の絆づくり講座】を8講座開催し、公民館を拠点とした地域づくりをすすめる。 ・乳幼児から熟年まで、幅広い年代が学び集い、自らの気づきを通して、よりよい地域づくりに貢献できる人材を育成し、支援する。 ・子育て、減災、環境など幅広い分野の講座を開催することで、地域の未来を考えるきっかけとする。	・配信講座などを積極的に行い、受講の選択をひろげ、どのような状況下においても、学びを止めない仕組みを検討する。 ・利用の少ない年代が、興味をもち、利用しやすい講座づくりを目指す。
	健康づくり講座	生涯にわたって健康でいきいきと暮らしていける学習機会を提供する。	・体も心も健康でをモットーに、仲間とともに楽しみながら「体を動かす」「心をリフレッシュする」5講座を開催し、新規講座を3講座開催	
	文化・教養講座	“いきいきとした人づくり”を実現するための学習機会を提供する。	・全9講座開催。これまで継続してきた各種講座及び新規講座を7講座開催。「講座企画委員会」の企画による利用者が学びたい講座を開く。	
	青少年健全育成推進	次世代を担う青少年が心豊かでたくましく自立するために、地域・学校・PTAと連携し活動する。	・各地域での子どもの活動を支援する。 ・視聴覚クラブの協力により地域巡回型「夏休み地域映画会」を開催する。 ・夜間巡回補導活動の実施。	
文化	中央公民館まつり	1年間の学習成果発表の場、また、利用団体間の交流の場として開催する。	・利用者団体「中央公民館友の会」を中心とする実行委員会により運営を行う。日ごろの成果や活動内容を発表する。	・令和4年度より文化会館にてステージ部門を開催。6年度は改修の様子をお見ながら、中央公民館で行うか、文化会館で行うか検討。
スポーツ	学校施設開放	社会体育の振興を図るため学校施設の利用促進を図る。	・中津地区内5校との連絡を密にし、学校行事に支障のないよう利用者へ貸出しをする。 ・第二中学校、南小学校、西小学校の各施設の鍵貸出し業務を行う。	「地域学校協働活動(CS)」を視野に入れ、地域との連携を積極的に行う。
運営	利用者との協働	開かれた公民館となるよう利用者と協働で運営を考える。	・地域公民館運営委員会の開催(令和元年度設置) ・利用者懇談会の開催や利用者アンケートを実施し、利用者の声を運営に活かす。	・「友の会」の会員は、中央公民館を利用して定期的に学習を行っている 社会教育関係団体(講座・サークル等)及びその会員で構成しているため、協働する大きな柱となる組織である。 ・「友の会」役員を主とした構成メンバーで、『地域公民館運営委員会』を設置。運営の評価も行ってもらう。

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 苗木 公民館

2 重点方針

柱:学校・地域・公民館の連携を軸とした活動を推進します

- 1 気軽に出かけやすい公民館、皆さんにとって身近な公民館を創ります。
- 2 皆さんの「つどう（気づき）・まなぶ（学習）・むすぶ（解決）」を支援します
- 3 地域内の団体・機関との連携を軸に事業を展開し、地域でがんばる人材を発掘、育てます。

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	教室・講座の開講	地域住民の学習要求に応える。 同じ地域に暮らす仲間による活動へと発展させる。(サークル化)	地域の絆づくり講座(8講座)、健康づくり講座(1講座)、文化・教養講座(6講座)を開講。受講生が学びの主体となれる運営を行う。	瀬戸の里地域包括支援センター、苗木地区社会福祉推進協議会等とも連携
	乳幼児学級びっころの開催	子育ての孤立化を防ぎ、仲間と子育ての楽しさを体験、学習	未就園児親子を対象に、地域の子育て世帯に呼びかけ、健康・安全・手遊びなどをテーマに学習・活動を行う。	
	出かける公民館講座の開講	公民館に来られない人に学習の機会を提供する	区集会所など集まりやすい場所を会場として、区民の求めるテーマに沿って学習する。	
	青少年健全育成活動	青少年の健全な育成を目的に、地域の大人の青少年理解を深め、地域ぐるみの活動へと促す。	青少年健全育成推進市民会議苗木支部を中心に、地域の諸団体との連携を進め、補導見守り活動、読み聞かせ活動等を行う。	公民館は事務局として支援
	交流スペース活用	読書活動や木育広場など、区民の活動と交流の場として開放	図書館本館、ほっとしよくらぶと連携して、区民が気軽に本を手にする機会をつくるとともに、木育広場として木の温もりにもふれる場として活用する。	
文化	第10回苗木文化交流まつり	地域の文化・芸能活動の発表の場として開催	2026年2月に作品展示、ステージ発表、各種体験コーナー等で公民館活動、地域活動の発表と交流の機会として開催する。	小学生による進行など、子どもが活躍できる場を設ける。
	公民館ギャラリーでの作品展示	館内の雰囲気づくり 地域の美術家などの作品を展示し、芸術を通じた交流の場をつくる	ロビー壁面をギャラリーとして活用し、地域の美術家や公民館利用者の作品などを展示し、作品を通じた交流の機会をつくる。	
スポーツ	苗木体育協会活動の支援	各種大会や講習会を開催し、地域住民のスポーツ活動の推進、健康増進を図る。	6月 ソフトボール大会、7月ソフトバレーボール大会、バレーボール大会、10月 軽スポーツ講習会、11月 健康マラソン大会、2月 親子スケート体験等を実施	公民館は事務局として支援
	学校施設開放事業	学校施設を開放し、地域スポーツ活動を支援する。	苗木小学校・苗木中学校の体育館、グラウンドを開放し、クラブ活動、区民のスポーツ活動の推進を図る。	
運営	公民館運営委員会の開催	住民が主体となるの運営・事業を目指し、協議を行う	地域、公民館利用者等の代表者で構成 事業や運営に対する評価・意見を生かしていく	年3回開催予定
	コミュニティスクール事業	子どもの課題解決に、学校・地域・家庭が協働して取り組む	運営協議会の下に、学習・地域活動部会、安全・環境部会の2部会を組織し、具体的な活動を計画、実施していく。	授業の支援、部活自由化に対応した取り組みなどを進める
	利用者懇談会の開催	利用者等と職員の意見交流を行い、運営・事業に生かしていく	利用者の声を聞く機会と同時に、公民館の思いなども伝え、今後の運営・事業を充実させていく機会として開催する	10月 懇談会を開催予定 12月 館内大掃除を実施予定
	たより・ホームページ・SNSなどを使った情報発信	まち協・公民館の活動の情報を積極的に発信する	まち協・公民館の活動の情報を提供する手段として、たより発行、ホームページやSNSを活用したPRに努める	

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂本 公民館

2 重点方針

1. 公民館は、生涯学習の拠点施設として、地域の特性を生かした活動を重視し、その活動がいっそう充実するための連携や必要に応じた援助を行う。
2. 家庭教育の充実のため、乳幼児学級を開催し、親同士の交流を図り、親にとっての一大事業である子育てを支援する。
3. 青少年健全育成推進市民会議坂本支部と学校運営協議会などの子どもに関わる団体の連携を図り、青少年の健全育成支援と安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と充実を図るとともに坂本体育協会等関係団体との連携を強化し、地域住民の健康の維持・体力づくりを推進する。
5. 伝統文化の保存継承と文化財等の地域資源の活用を関係団体と連携し推進する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座の開設	市民の身近な学習や交流の場として生きがいつくりを支援し、地域づくり、人づくりの推進を図る。	趣味の教室や市民の生活に身近な課題をテーマに講座を開講し、人と人のつながりや、学習意欲の受け皿、地域づくりボランティア活動への契機としていく。	講座終了時に、受講生へ今後受講したい講座及び講座の感想等のアンケートをとり、翌年度講座の開設に反映させる。
	高齢者大学「はなのき大学」	高齢者が元気よく、いきいきと暮らせるように、また積極的に社会参加できるように支援する。	市内外の講師を招き健康・歴史等の講話を開催する。過去に好評だった講話及び受講生のニーズにマッチした新しい講話の企画等、講座の更なる充実を図る。また自主サークルのカラオケ、民謡クラブなどを組織、活動を支援する。	受講生の活動記録を掲載した文集を発行する。
	青少年健全育成推進	市内で一番のマンモス小学校を抱える坂本地区として子ども会活動を支援しながら、人や地域を愛せる心を育む活動を目指す。	7月の社明大会、夏休み期間中の夜間パトロール活動、11月の子ども若者育成支援強調月間での独自の取り組み、1月の「家庭の日」の取り組みを推進する。	「家庭の日」の取り組みとして、「小中学生の書初め大会」及び「親子たこあげ大会」を開催する。
	図書コーナー	年齢にかかわらず生涯にわたって学び、創造し、充実する人生を応援する。	情報サービス提供機能を強化し、図書館に出向けない利用者への貸出・返却体制を充実する。	暮らしの歳時記に合わせてコーナーをディスプレイしてPRしている。
文化	第50回公民館まつり	サークル・講座の利用者が活動した成果を広く区民に発表する場を提供し、学習意欲の向上を図るとともに、生涯学習の重要性を啓蒙し、地域力の向上を図る。	サークル・講座の利用者が実施主体となって、企画立案し、ステージ発表会と作品展覧会を開催する。また、地域づくりの観点から「人と人、地域をつなぐ公民館」をモチーフに、まちづくり協議会の活動と連携を図る。	地域で活躍している「中津川工業高校吹奏楽部」や「飛翔の里」の合唱団等を招き、来場者と交流する。
スポーツ	第2回リフレッシュスポーツフェス 各種スポーツ大会 各種スポーツ教室	スポーツを通して区民の健康の維持、体力づくりへの関心を深め、地域住民相互の交流と親睦を図る。	坂本体育協会を実施主体とし、各地区から選出された体育委員を中心にジョギング大会、ソフトボール大会等を開催する。また昨年度から区民運動会に代わって新しく創設されるたりフレッシュスポーツフェスの開催を支援する。また学校施設等を利用して、バレーボール等のスポーツ教室を年間を通して開催する。	坂本体育協会が中心となって自主的に企画・運営が出来るように連携を図る。
運営	公民館運営委員会	公民館の管理や運営に対して充実を図る。	今日の激しい社会構造の変化の中で、市民の多様化・高度化する学習ニーズや生涯学習社会の進展等の新たな状況が生じている。その変化に対応する社会教育、公民館の在り方について意見を伺い反映させる。	社会教育委員等で組織する。

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 落合 公民館

2 重点方針

1. 地域の人々の交流拠点として幅広い年代に学習の機会と居場所を提供するとともに、地域の各団体と連携して賑わいづくりを支援する。
2. 家庭教育及び青少年健全育成の充実のために、学校、家庭、地域と協働し子どもたちが安心して心豊かに育つ環境づくりを推進する。
3. 地域の文化振興を深める機会の提供とともに、歴史文化資源の活用に努める。
4. 生涯的な健康づくりに取り組み、誰もが健やかに安心して心豊かに暮らせる地域づくりを進める。

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	生活に即する学習や文化に関する講座を開催し住民の教養の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進を図る	年間を通し講座を開講するとともに、ニーズを把握し新規講座の検討を行う ・親子や子どもが参加できる講座の強化（乳幼児学級、リトミック） ・筋トレストレッチ、ベビーヨガ、己書、英語講座、その日に備える防災教室	
	キッズクラブ （乳幼児学級）	子育て中の親を対象に、仲間づくり・子育て・遊びなどを通して家庭教育の向上を図る	0～3歳児と親を対象に、季節の行事や遊びと学び（親子の関係・あいさつ・行動・躰など）を組み合わせ、家庭教育の充実と同年代の仲間づくりを進める。また、毎月1回1年間の活動を通して自主的な運営意識を高める	
	青少年健全育成活動	青少年の健全な育成を目的に、地域の大人への啓発活動を行い、子ども達が社会性を育めるように、地域行事等から得られる体験や行動意欲の充実を図る	青少年健全育成推進市民会議落合支部を中心に、地域の諸団体との連携、園・小・中学校との連携を進め、地域全体で子どもを育む。	まち協、学校等との連携による夏休み子ども塾やフォトコンテスト、レクリエーションの開催
	コミュニティルーム活用 （図書ルーム）	区民の読書推進および交流、諸活動の場として開放	図書館との連携により、区民が気軽に図書に触れる機会をつくり、学びの場として活用する。 だれでも気軽に利用できるスペースにする	
文化	落合公民館まつり	落合公民館利用者及び、地域の方の芸能文化の発表、交流の場として開催	活動団体の成果を発表する場とするとともに子どもからお年寄りまで地域の誰からも親しまれるまつりとして、地域の諸団体と連携しステージ発表や作品展示会を開催する	
	公民館ギャラリー	公民館の通路壁面などを活用し、地域の方の絵画や書画等を展示、紹介し、地域の文化意識の向上を図る	落合地域では油彩、水彩画や書画をたしなむ方も多くおり、これらの方や小中学生の作品を地域に紹介することにより、公民館が地域文化の発信地となり、作品に触れることで文化活動を始める後進のきっかけづくりとなる意識作りを図る	
スポーツ	生涯スポーツ、健康づくりの推進	地域住民の健康維持・増進と仲間作りを支援する	青少年落合支部やまち協などと連携したウォーキングの開催など、誰もが健康で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを進める	
	学校施設開放事業	学校施設の開放を行い、地域スポーツ活動を支援	落合小学校・落合中学校の体育館、グラウンドを開放し、クラブ活動、区民のスポーツ活動の推進を図る	
運営	公民館運営委員会	地域住民のニーズを把握し活動に反映させる	日頃の公民館利用者の声を受けとめ、公民館の管理・運営に活かす	必要時期に開催予定

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 阿木 公民館

2 重点方針

1. 公民館を拠点に地域住民の日常的な学習活動の場として、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指す。
2. 家庭教育の充実のため子育てサークル等団体を支援する。
3. 地域ぐるみの青少年の健全な育成として、安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の充実を図るとともに、健康で心豊かな地域づくりを行うため関係団体との連携を強化する。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	学習や交流をととして人と人とのつながりや地域づくり・生きがいづくりへつなげる。	年間を通して各種教室・講座の開講(各1回～6回) ストレッチと体幹トレーニング、花の里大学、阿木の夜空を見てみよう、阿木の歴史・史跡ウォーキング、阿木ダム探検、野草de散歩、つるしかざりを作ろう、手話教室、減塩に挑戦、簡単お昼ご飯を作ろう、公民館歌声喫茶、等	地域住民の意向を把握し、地域の歴史・地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。
	乳幼児学級【未就園児と保護者】	子育てに関する学習や遊びから親子の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上を図る。	乳幼児学級では、全ての対象者が家庭教育の場に集い、交流できるよう取り組む。(6月～3月 8回開催) サークルわくわく広場の支援	会員同士の交流を深め、互いに子育てを助け合う体制作りを支援する。
	みちくさ教室(阿木子ども公民館)	子どもたちの様々な体験、学習、交流をととして健全な育ちを支えたと共に、子どもと公民館との関わりを深める。	ものづくり、体験教室、防災教室、体験をととして作法を身に着けたり、地域の大人との三世代交流などを行う。放課後居場所作りでみちくさフェスタ等を開催するほか地域事情に合わせた支援をしていく。	青少年阿木支部、阿木地区社協、ふるさと福祉村の児童サロンとも連携して実施する。
	青少年健全育成推進	小・中学校や地域と連携し青少年の育成活動を推進する。子どもの放課後居場所づくりを行い安全を図る。	区長会、地域の役員、老人クラブと連携しながら三世代交流事業を行う。子どもたちが放課後等に安心して過ごせる居場所づくりを整備する。	地域には学童や児童センターもないため子どもの放課後の安全な環境を整える。
	図書展示コーナー	地域の方が気軽に立寄り本を手にとれて集える場所にする。	中津川市図書館と連携し児童図書の充実を図り、利用者の声を反映させる。展示等目を引くものにしていく。	住民の憩いの場所とする。
文 化	阿木文化祭(展示・ステージ発表会)	地域の文化振興と住民の意識の向上を図る。	日頃の活動を発表する場として、12月に、書道、俳句、華道などの作品を展示する。また、同時に民謡やコーラス、カラオケなどのステージ発表を行う。	阿木文化連盟や公民館を活動拠点とする団体と連携・協力して事業を推進する。
ス ポ ー ツ	スポーツ大会 スポーツ教室・健康づくり	阿木地域の住民(子どもからお年寄りまで)の健康増進、体力向上、親睦を図る。	阿木区民運動会・スケート教室・新春マラソンの運営を行う 体育協会の支援を行う。	阿木体育協会との連携・協力
運 営	公民館運営委員会	公民館の運営、事業に地域住民の声を生かし充実を図る。	地域の声・利用者の声を反映させる為に、公民館運営委員会を開催し意見交換を行う。	公民館評価を実施する

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

- 1 公民館名 神坂 公民館
- 2 重点方針

生涯学習の視点を踏まえて
 ・神坂地区ならではの文化に根ざしたくらしづくりをするため
 ・お互いの信頼とぬくもりのあるくらしづくりをするため

1. 地域を担うひとづくり 2. 郷土の香り高い文化づくり

1. ともに支え合う仕組みづくり 2. ともに生きる社会づくり 3. ともに参画する仕組みづくり

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	学習の場をとおして教養を身に付け、心と体が潤い豊かな生き方とひとづくりに結び付ける。	多くの地域住民が気軽に参加でき、学習機会と仲間づくりの場を提供する。 特に、馬籠地域の皆さんに参加いただくよう工夫する。	神坂まちづくり協議会が発足し、神坂SICが開通することから、神坂のまちづくりに公民館活動がどのようなかわっていかるか検証したい
	青少年健全育成推進	地区内の関係する団体、機関と連携し青少年の健全育成と非行防止にかかわる活動とひとづくりの推進を図る。	青少年健全育成推進市民会議神坂支部を中心に、親子クリーンキャンペーン（環境美化空き缶拾い）、かるたとり大会等を行う。防犯カメラの普及に支援する。	同上
文化	ふるさと神坂総合文化祭	学校・地域住民が文化活動の、成果発表の場を通じ、郷土の香り高い文化づくりと地域交流を図る。	今年度末に閉校となる神坂小・中学校生徒の最後の作品なり、落合・神坂こども園にも話しかけ、神坂地区住民の合同参加による作品展示を盛大に開催できるよう協力、支援する。	同上
	読書・読み聞かせ	文豪島崎藤村を身近に感じ、多くの本に触れ、心を豊かにするひとづくり。	馬籠出身の文豪「島崎藤村」と童話作家「宮口しづえ」の図書や藤村かるたに触れ合う場を提供する。	同上
スポーツ	マレットゴルフ大会（三世代交流）お宝発見ツアー	親子や三世代・地域の絆を深め、健康増進と体力向上とともに参画するひとづくりを図る。	神坂まち協が初めて開催、体育協会神坂支部が共催するマレットゴルフ大会・お宝発見ツアーに協力、支援する。	同上
運 営	調整会議	学校・地区・各団体の行事が重複しないよう仕組みづくりをする。	落合・神坂こども園・小・中学校・地区（神坂・馬籠地域）・各種団体による主要スケジュールの調整を行う会議を開催し、ともに生きる社会づくりを進める。	同上
	公民館運営委員会	地域住民がより利用しやすい公民館を目指す。	公民館運営委員会を開催し、地域住民のニーズに答えられるような公民館作りを進める。	同上
	公民館だよりの発行	神坂地区内の情報提供と、公民館活動の理解を深め、ともに生き支え合う社会と仕組みづくりを目指す。	地域の情報や公民館活動などを 事務所が発行するたよりに掲載し全戸配布し、HPにもアップし情報提供を行う。	同上
	図書室の利用拡大	・図書室のPRを行い利用拡大を目指す。 ・読み聞かせを通じて親子のふれあいを深める。	・事務所が発行するたよりに「図書だより」を掲載し、図書室のPRを積極的に行う。 ・乳幼児を対象にした絵本などを充実させ、親子での読み聞かせの機会を拡大する。 ・神坂地区出身の文豪「島崎藤村」と童話作家「宮口しづえ」の図書コーナーを充実させ広く地域住民に知らせる。	同上

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 山口 公民館

2 重点方針

1. 地域の住民が気軽に集うことのできる公民館、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指す。
2. 地域の子どもは、地域で守り育てる、青少年が健やかに育ち自律できる環境づくりに努める。
3. 地域における活動や人材を結びつける活動を通し、活気のある楽しいまちづくりに取り組む。

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	地域住民の皆さんに学習の機会を提供し、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりなどの推進を図る。	多くの地域住人が気軽に参加でき交流を深めながら、生きがい、健康づくり等をみつけられるような講座を開設する。	
	乳幼児学級 (にこにこ広場)	未就園児の親子を対象に、子育て中の親子の交流の場を設け、楽しみながら仲間づくりや家庭教育の向上を進める。	乳幼児学級では、同年代の乳幼児を持つ母親の交流の場を作り、親子のふれあいとママ友の輪を広げながら子育てを楽しく学べる場を提供する。	やさか地区での合同講座を複数回開催する。
	青少年健全育成の推進	山口の地域性(少子高齢)を考慮しながら地域全体で子ども達の育成を推進する。	・学校、PTA、まち協、地区社協、老人クラブなど地域の団体と連携し、子どもたちの育成に努める。 ・「危険場所調査」「街頭啓発」「各種研修会」などの活動に参加。 ・長期休みを利用して子どもの思い出となる行事を開催する。	・やさか地区合同で青少年健全育成啓発活動を実施する。 ・こども園・小中学校への図書寄贈
	図書の充実	児童図書を充実させ、子ども達に読書の楽しさと興味を高め、豊かな心を育む。	こども園、小学校への「出前図書」を継続、季節・流行・年代層別などニーズに沿った図書を定期的に配本する。	アンケートを実施しながら子どもたち、先生、保護者のニーズを把握し更新していく。
文化	地域文化の振興	地域の文化・芸能活動を支援することにより住民の伝統文化の意識を向上させる。	・山口地域の神社に伝わる舞と邦楽の伝承を支援する。 ・小学生の和太鼓発表会への支援	練習場所の提供
スポーツ	地域住民のスポーツ活動	スポーツにふれる機会を提供することで地域住民の交流と継続可能な健康づくりを図る。	山口体育協会と連携し、マレットゴルフ大会、ウォーキング、卓球教室など子供から大人まで気軽に参加できる運動活動を支援する。	健康づくりの活動に、より多くの参加を目指すべく無関心層に呼びかける。
運営	公民館、図書室の運営	地域の特徴を活かした公民館、図書室となるよう地域住民の意見を大切にした運営を図る。	・公民館、図書室の利用者・会議の折など、地域住民利用者の意見を聞くことにより公民館の管理運営に活用する。	総合事務所・区長会・まち協・地域の住民・地域の団体との連携を図る。

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名

坂 下

 公民館

2 重点方針

1. 地域住民の要望を把握し、人づくりの拠点として地域の実態に即した活動に取り組む。
2. 講座の開設、子育て・家庭教育の支援、その他の行事を通して、地域の教育力の向上と人々の絆の強化を図る。
3. やさか地区関係諸団体との連携による青少年健全育成の推進を図り、安心安全なまちづくりに努める

3 重点事業	事業名	ね ら い	概 要	特 記 事 項 等
生涯学習	乳幼児学級(ほほえみ教室)	未就園児の親子を対象に、子育てを通した仲間づくりと学習・情報の交換を行い、家庭教育力を高める。	月二回の定例学級と班活動により、乳幼児期からの家庭教育の支援と学習の場、仲間づくりの場の提供を行う。 やさか地区合同の乳幼児学級の開催し交流を図る。	受講者の願いを大切にすると同時に、地域の人材を積極的に活用し地域間交流を図る。
	公民館講座	学習機会と仲間作りの場を提供し、地域づくりボランティア活動へのきっかけを作る。	参加した講座の学びを通して生きがいの充実を図るとともに、新たな絆づくりをすすめる。	楽しく学ぶことのできる講座の開設を考える。
	やさか合同講座	やさか地域の小中高生・保護者・地域住民が体験・制作活動を通して交流を深める。	ウォーキングを通じて地域の自然・歴史・文化に触れる。 地域の達人の指導で創作活動・科学実験等の各種体験に挑戦する。	郷土の歴史・文化遺産を知り愛着を深める。 興味・関心のもてる多様な体験活動を設定する。
	青少年健全育成推進活動	青少年の健全育成のために、啓発と実践活動を通して、地域ぐるみで子どもを育てる意識を高める。 「やさかの子は、やさかで守り育てる」を合い言葉に、青少年の健全育成をめざして地域の諸団体の連携を図る。	あいさつ運動・街頭啓発活動、危険箇所点検等の実施。 「やさかじまんカルタ」の募集と作品展示によりふるさとの良さを広める。 読書活動の推進と支援をする。 園・学校・家庭・地域社会が情報を発信・共有しあい、青少年に関わる一貫した取り組みを行う。様々な活動を通して意思統一を行う。	やさか地区合同で啓発活動を実施する。
	読書活動の推進	図書室の利用促進と読書への興味と関心を高め豊かな心を育む。	季節や話題のコーナーの設置、「お話の会」、「図書室まつり」等の企画をし、利用促進を図る。園小中学童クラブへの配本	やさか3図書室の連携を図る。
文 化	「花馬まつり」の保存・伝承	無形民俗文化財の保存と継承に努め、郷土愛を育む。	「花馬まつり」の保存と継承に地域を挙げて取り組み、連帯意識の高揚を図る。毎年10月の第二日曜日に開催。	囃子方、子ども手踊り等の練習場所の確保に留意する。
	歴史・民俗資料の保存・伝承	地域に伝わる文化遺産の保存と継承を図る。	文化財保護団体と連携し、既存資料の記録・整理・保存に努め、資料館を積極的に活用する。広報・宣伝活動を通して来館者の増加を図る。	坂下民俗資料保存会と連携し、「柊の蔵」の整理展示、維持、運営方法を考究する。
	文化事業	文化祭・芸能祭・地歌舞伎の公演などを支援し、その継承と保存に努める。また、後継者の育成にも力を入れる。	年一回、文化祭・芸能祭を開催する。歌舞伎公演会には、子ども歌舞伎公演なども行い、後継者の育成を図る。	10月に芸能祭、11月に文化祭・歌舞伎公演を予定。それぞれの団体が開催する活動をサポートする。
ス ポ ー ツ	生涯スポーツ・健康づくりの推進	スポーツを通して子どもから大人までのふれあいの場と健康づくりの場を提供する。	スポーツ団体の公民館利用を進め、ライフステージに応じて健康で心豊かに生活できる地域づくりをめざす。	坂下総合体育館、やさかイキイキ倶楽部との連携を図る。
運 営	公民館運営委員会	公民館等の管理や運営に地域住民の声を活かし充実を図る。	委員会・日ごろの公民館利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所・区長会・まちづくり協議会、園・小・中高との連携を図る。

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 川上 公民館

2 重点方針

1. 家庭教育の充実
2. 青少年健全育成活動の推進
3. 公民館講座の充実
4. 文化スポーツ活動の支援

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	乳幼児家庭教育学級	就園前の乳幼児を持つ親たちの自主学習・講座・情報交換を通じた仲間づくりを進める。	・5月～3月に月一回開催（やさか地区合同学級、年5回開催） ・川上で開催する乳幼児学級に坂下・山口地区を中心に市内の親子も参加できるように、日程調整等行い、多くの参加者を募る。	季節の行事に触れる内容を取り入れる。
	公民館講座	学習を通じて個々の能力の活動や世代間交流を図るとともにサークル化を目指す。	若年層から高齢者までの学習機会と仲間づくりの場を提供する。	川上の特性を活用した公民館講座「夕森講座」「手機織り体験」を開講。6月14日に開催するイベント「温泉まつり」の時に、温泉やプールにちなんだ講座を開催。
	青少年健全育成事業（川上）	関係団体や地域との連携を密にし、青少年健全育成を推進する。	支部連絡会を開催し、小中学校・警察・子供会等諸団体からの現状報告を聞いて対策を考える。	木工教室（小学生対象） こども園・小学校・中学校へ図書の寄贈
	青少年健全育成事業（やさか）	やさか地区が連携し、地域全体での青少年活動への意識向上を図る。	やさか地区の公民館が連携を取り合って、情報収集・会議運営・諸行事等の支援を行う。	挨拶運動・街頭指導・危険箇所点検・やさか図書室めぐり・ふるさとじまんカルタ
	青少年ボランティア参加促進事業	地域の一員として活躍できる場を提供し、ボランティア活動の成就感体験を図る。	公民館が架け橋となり、まち協・体協・文化協会・区長会等の事業に参加を求め、地域の大人と一緒に活動する。	文化芸能発表・防災訓練
	公民館図書室活動	住民に学びの場を提供し、図書室の利用拡大をさらに進める。	読み聞かせサークル「しゃぼん玉」の読み聞かせ・図書室まつりの実施、小学校・診療所・かわうえデーサービスセンターすずらんとの連携を強化する。	図書室まつりは年1回実施。 本を参考にした工作等を入れる。
文化	文化活動の支援	地域の文化芸能活動の活性化を図る。	発表の機会を増やし、活動意欲を増加する。	文化協会の自立・文化祭
	文化財の発掘・保存	地域に現存する文化財の発掘・保護に努める。	収集した文化財を整理・保存してその価値を再認識する。	史料収集と整理。
スポーツ	軽スポーツ大会	軽スポーツを通じて地域間・世代間交流の推進を図る。	ビーチボール大会	主催は体育協会で青少年健全育成市民会議川上支部は協力する。
運営	公民館・図書室の運営	地域の特徴を生かした活動の活性化と地域住民の意見を大切にした運営を進める。	公民館、図書室の利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所と公民館の連携の強化を図る。

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 加子母 公民館

2 重点方針

- 1.家庭教育力及び地域教育力を高めるために、関連する各組織がお互いに連携できる機会を提供し、支援する。(家庭教育)
- 2.青少年育成区民会議活動を充実し、子ども達が地域活動に参画し、体験を通して地域への愛着を醸成できる情報や機会を提供する。(青少年健全育成)
- 3.生涯学習活動を支援し、地域の人材発掘や街づくりに参画する市民活動の拠点づくりを推進する。(地域拠点活動)
- 4.スポーツ・レクリエーションや公民館講座を通じて地域の人々の健康を基礎とした人づくりを推進する。
- 5.伝統文化の継承を支援する。

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	家庭教育推進(家庭教育)	幼児期の子どもを持つ親を中心に家庭教育に対する正しい知識を身につける。	乳幼児学級は学びの場を中心に展開し親育ちの支援を行う。また、自主運営を行っている子育てサークルの相談や指導を行い円滑な運営ができるようにする。	付知地区との地域間交流を行う。
	加子母教育の日(家庭教育)	地域の教育力を高め、地域で子育てを目標に地域教育の継続・充実を支援する。	地域の人々が、地域のことを、地域の子どもたちに教育する。家庭・学校・地域が一体となって子どもの教育を実践する活動。	通常11月最終日曜日に開催。
	青少年健全育成事業	地域の中で小集会活動を充実し、地域全体で青少年健全育成を実践していく。	挨拶推進・安全安心・花づくり事業・各組織連携の合同会議を開催し、実践して行く。	10地区に青少年健全育成推進委員を2名置き、区長中心に活動を行う。
	風起こし事業	明治座を核とした文化による地域づくりのため、地域の芸術文化向上、コミュニティー醸成、交流促進、全国への情報発信を図る。	明治座の通年開館を行うことにより、文化財の保護と、地場産業や観光事業を振興し地域の活性化を図るためのイベント等を創出する。	明治座クラシックコンサート、ワンコインコンサート等
	公民館講座	地域のニーズに適応した講座を開発し、地域の人の知識や技能の習得、健康づくり等に貢献する。地域の人材発掘と活用を促進する。	受講者の多い講座や新規講座を通じて地域の人の学習ニーズに応える。新たな講座、講師を開発し、地域の人材発掘を通じて地域活性化に貢献する。	気軽に講座を開講できる「お試し講座」を継続する。
	図書室の利用向上	総合事務所内に併設した図書室として、幅広い年齢層の利用を促すことにより読書活動を推進につなげる。	利用者にとって読みやすい場所及び充実した図書を提供することにより、利用者の増加を図る。また、定期的に図書室まつり等のイベントを実施する。	図書選書及び返却管理などは図書ボランティア「ひなたぼっこ」と共同で行っている。
文 化	伝統芸能保存活動	地域の伝統芸能の保存と、次世代へ継承を行う。	歌舞伎・木遣り・獅子舞・さいとり刺し・獅子芝居等の伝統芸能の保存伝承を行う。子どもたちの参加を促し、後継者の育成を進める。	9月に明治座で歌舞伎公演、各区の神社祭典で獅子舞奉納等を行う。
	文化協会事業	地域住民の文化芸術思想の高揚と会員相互の研修と親睦を図る。	14の文化団体が構成し、成果の発表と各団体の交流を図るために文化祭を開催する。	10月に文化祭を開催予定。
	「史・民俗資料」の保存・伝承	地域ボランティアの力を借りて、地域史・民俗資料の整備・保存・伝承を図る。	「郷土館」を中心に加子母地域の古文書資料の整理、民俗資料の整理や展示を行い、保存及び伝承をする。尾張藩山守内木家の古文書の解説を進める。	「郷土館」は、地域ボランティアの協力により資料整備を継続中。山守内木家の古文書の解説を実施中。
ス ポ ー ツ	スポーツ少年団活動	スポーツを通じて、子どもの健全育成を図る	4種目のスポーツ少年団を指導員と保護者で構成する育成会との連携を深め、子どもたちの健全育成を図る。	剣道・弓道・スキーの4種目で小学1年～中学生を対象に団員募集し活動する。野球は付知と合同で活動。
	加子母体育協会事業	一般スポーツを普及し体力増進と健康増進を図る。体育協会が中心となり地区体育祭を開催し住民の親睦と健康増進を図る。	青少年に対し、スポーツと連携して強化を図るとともに、一般競技者の技術向上を図る。また、軽スポーツ等の普及に努め体力づくりの機会を増進する。地区体育祭は10地区対抗で開催し、スポーツを通じたコミュニティづくりを行う。	体育推進委員が活躍して普及している。また、体育祭は開催時は多くの住民が集まる加子母で最大の行事である。
運 営	公民館・図書室の運営	公民館・図書室の管理や運営に利用者や運営委員の声を活かす。	公民館や図書室の利用者の意見を反映し、管理や運営に活かす。公民館運営委員による公民館活動の評価やアドバイスなど第三者による意見を反映させる。	担当者による自己評価、運営委員による評価を通じて改善に取り組む(中間・年間評価)。評価情報は住民に公開。

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

- 1 公民館名 付 知 公民館
- 2 重点方針

1. 地域の人々の交流拠点として、幅広い年代層に学習の機会と場所を提供するとともに、地域づくり・人づくり・つながりづくりの拠点として親しまれる施設の運営を目指す。
2. 家庭教育の充実のために地域の子育て支援団体と連携・協働し、子育て支援活動に取り組む。
3. 青少年の健全育成を推進するために、青少年健全育成付知支部の活動を強化するとともに、学校運営協議会等を含め地域全体で子供を育てる事業を実施する。
4. 地域伝統芸能継承団体及び文化団体の活動支援を行うとともに、地域の文化財を後世に継承していくための文化財保護活動の支援に取り組む。
5. 総合型スポーツクラブとの協働により生涯スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人づくりを目指す。

重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生 涯 学 習	公民館講座	地域住民の学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり・人づくりの推進を図る。	地域づくり講座、文化スポーツ講座、夏・冬休み子ども講座等各種講座を実施する。夏・冬休み子ども講座では、世代間交流や子どもの地域学習の場を提供する。	地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。
	青川フェニックス大学【高齢者大学】	高齢者の知識向上と生きがいづくりを目指し、仲間づくりと学習する機会を提供する。	大学の講座開講は運営委員会における自主運営で行い、学生の生涯学習、健康の維持・増進等を図る講座を開設する。今年度で27回目の開講となる。また地域包括支援センターとの連携を行っている。	令和7年度普通部7講座専門部15講座。受講希望者延べ281名、174名が入学。今年度は楽しい麻雀講座を新設。
	乳幼児学級	乳幼児とその親たちに家庭教育と情報交換の場を提供し、子育てのノウハウやコミュニケーション能力の向上を支援する。	未就園児の親子を対象に毎月1回開催し、季節行事や交流・講話等を実施し、家庭教育の学習と情報交換の場を提供する。学級の合間に自主活動を行う。	すすくわくわくまあるいこころ、地域の託児ボランティアの協力を得て運営している。
	青少年健全育成事業	地域団体と連携して青少年の健全育成と安全確保ができる活動の推進を図る。	夏休み夜間パトロール、危険箇所の点検、あいさつ運動、スポーツ少年団駅伝交流会、ハツツウウォーキング、インリーダー研修会、付知町書き初め大会、児童版画コンクール、子ども会支援等の事業を実施する。	区長会、PTA、学校、保護司、民生児童委員、各区推進委員等が連携して活動している。（コロナ禍以降通常の開催方法に戻っている。）
	図書室の利用促進	地域の方に親しまれ、便利で気軽に利用できる図書室を目指す。	①市民への情報提供：図書室だより、企画展示 ②地域連携事業（学校、NPO、放課後学童クラブとの協働事業） ③利用者へのフォロー：図書検索、予約等 ④読み聞かせサークルの支援 ⑤ボランティア団体との協働（本の展示やポップの作成等）	学校、NPO、放課後学童クラブ、高齢者クラブ、ボランティア団体との協働により公民館図書室の利用促進、読書の促進を図る。年2回参加型で図書室イベントを行い多くの参加を得た。
文 化	伝統芸能保存事業	地域の伝統芸能の普及と、次世代へ伝承できるよう支援する。	木曳音頭、翁舞、三輪神楽、おんぼい節などの伝統芸能を後世に正しく伝承するため、保存会と連携して、活動やイベント等への出演の支援を行う。	後継者不足を解消するため学校との連携を進め、発表・交流の場を増やす。小中学生の御神木祭への参加依頼。
	文化祭事業	文化芸能活動を支援し、地域の文化振興と住民の文化意識の向上を図る。	文化協会が主催で、市民の文化活動の発表の場として催しており、作品展示と芸能発表を合同し二日間かけて開催している。	令和6年度文化協会団体23団体、会員人数延べ250人。第度48回文化祭実施。
	文化財保護事業	文化財を保存し後世へ継承していくとともに、普及・啓蒙活動を支援する。	文化財保存会を中心に、地域の文化財を保存・継承していくために、文化財の手入れや環境整備、中学生史跡研修、教職員の史跡巡り、ふるさと巡回ツアーの実施を支援する。	文化財保存会が地域の史跡顕彰看板を年に1箇所設置。令和6年度16か所目建立。
ス ポ ー ツ	生涯スポーツ推進事業	スポーツを通して健康づくりと体力づくりへの関心を深め、子どもから高齢者までの健康増進と地域交流を図る。	総合型地域スポーツクラブとの協働により、各種スポーツ大会や教室等を開催するとともに、スポーツ少年団、体育協会のスポーツ活動を支援する。	令和6年度スポレク祭3種開催。令和7年度4/5に付知川河川敷で春のウォーキング大会開催、300名の参加。
運 営	公民館運営委員会	地域の特色を活かした活動の活性化と、地域住民の意見を活かした運営を行う。	公民館運営委員会を開催し、その意見を公民館活動に反映させる。	施設利用者対応、窓口対応により中間世代の意見を取り入れた公民館の運営を向上させる。
	公民館情報発信	地域住民に公民館活動を周知し、また興味を持ってもらうための情報発信を行う。	図書室の情報ははじめ公民館活動、行事、講座などの案内や報告を掲載し「付知公民館だより」として発行する。	毎月全戸配布を行っている。
	公民館の指定管理	まちづくり協議会が公民館と一体的に活動することで、住民の意向を的確に反映した公民館運営を行い、人づくり、地域づくりを通して地域の活性化につなげる。	平成30年度から付知町まちづくり協議会が付知公民館の指定管理を実施している。公民館の設置目的、及び管理運営方針を十分に理解し、公民館活動の向上に努める。	公民館事業とまち協事業を分け隔てることなく、公民館から地域に働きかけ、地域の活性化と見直しを図り「人づくり、つながりづくり、地域づくり」の拠点として公民館を位置づける。

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名

福岡

 公民館

2 重点方針

1. 住民の学習要求や地域課題に対応し、地域の活性化と人間性豊かな社会の形成を図る重要な拠点として、主体的で、特色ある運営を推し進めます。
2. 豊かさや活力にあふれる地域づくりのために、関係機関や団体、ふくおかまちづくり協議会等との連携を一層強化します。
3. 伝統文化の継承と文化団体の育成を支援します。
4. 指定管理施設(公民館、常盤座)の管理と、活用による地域づくりに貢献します。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座	住民の学習の機会を提供するとともに、参加者の交流や生きがいづくりを行う。	地域づくり・健康づくり・文化教養講座で多くの皆さんに参加していただける講座を企画運営する。	地域の講師発掘、様々な分野の講座をバランスよく配置し、講座の充実を図っていく。
	乳幼児学級 おひさま広場	子育てに関わる学習や遊びから親・子同士の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上をはかる。	学びながら親子のふれあい、親同士のふれあいをテーマに季節の行事や体験活動、講演など月1回の活動を行い、様々な企画で開催する。	参加者と連携しながら、日常の生活では経験できないような体験活動を中心に進めていく。
	ふれあい学級	高齢者になっても、毎日をより豊かに過ごすことができるよう、仲間づくりと学習する機会をつくる。	楽しみながら、体験活動やふるさと学習を開催するとともに、見聞や知識を広める研修会などを開催し、親睦交流を更に深める。	役員を中心に年8回、楽しい体験活動やふるさと学習、研修旅行などを企画実践していく。
	青少年健全育成推進活動	地域、学校、家庭が連携し、青少年の健全育成に努め、地域子ども会の自主的活動を支援する。	社明運動や、補導活動を実施する。地域子ども会活動を支援し、子ども夏祭りinふくおか、ふるさと宝ものさがし等の活動を進める。	保護司、民児委員、PTA校外指導員、地区委員、青少年推進員、育成員が連携し子どもたちの育成を支援する。
	地域学校協働活動の推進	地域、学校、家庭が一丸となり、地域みんなの力で子育てを推進する。	地域、学校、家庭がー帯となり、子ども達を見守り、子どもたちが体験できる活動や、子育てについて、気軽に学びあい、語り合う機会をつくる。	福岡小中学校学校運営協議会を柱に、関係機関や団体が連携を図りながら、子育てを推進する。
文化	文化活動事業(文化展)	地域の文化振興と住民の文化に対する意識の高揚と技術の向上を図る。	ふくおか文化協会が主催する、文化系サークル8団体の活動の成果発表の場、地域住民の文化活動作品展示などの場として、2日間にわたって文化展を開催する。	200名以上の方の出品で、2,000名以上の来場者を目指す。
	芸能活動事業(芸能祭)	地域における文化芸能を広く普及し、各団体間の交流と親睦を深める。	ふくおか文化協会に加盟している芸能系サークル10団体の活動の成果発表の場として、毎年3月の第1日曜日に開催する。	500名以上の方の来場を目指す。
	福岡文化財保護事業	地域内の文化財等の保護及び郷土史編纂活動を支援推進する。	文化財保護団体・郷土史編纂委員等の活動支援を行なう。	年2回の巡視活動及び保護活動の支援。 月2回の郷土史資料編纂作業の支援。
	伝統芸能保存事業 (常盤座歌舞伎保存会)	地歌舞伎の保存伝承と後継者の育成を図るとともに、子どもたちへの伝承活動を支援する。	常盤座歌舞伎保存会定期公演及び子ども歌舞伎教室発表会、福岡小学校歌舞伎クラブの支援も行う。常盤座を毎月第1日曜日に一般開放をしている。	常盤座保存会、歌舞伎保存会、歌舞伎子ども教室、常盤座 STACK 会(支援団体)活動を積極的に支援する。
	ニッ森ふれあいクラブ活動	地域住民が主体となって、企画運営しているニッ森ふれあいクラブを更に発展させ育成支援する。	文化系、スポーツ系とも年間を通じて活動する当該クラブの支援と、子ども夏祭りinふくおか(8月)及び体験会(2月)を開催する。	小・中学生会員約120名、指導者約40名で活動している。福岡地区外の子どもたちも参加している。
スポーツ	福岡体育協会事業	体育協会をサポートすることにより住民の健康増進とスポーツの普及を図る。	各種スポーツ大会(市体育大会・スポレク祭・バレーボール・ソフトボール)及び元旦マラソンなどの開催支援を行う。	各種スポーツ団体が年間を通して活動している。
運営	公民館運営委員会	中津川市公民館の設置等に関する条例により、福岡公民館に運営委員会を設置する。	運営委員会では、公民館運営を評価して頂いたり、地域や利用者の視線から公民館運営の助言をいただく。	公民館を利用する各分野の団体から委員を委嘱し、公民館運営委員会を組織している。
	公民館の環境の充実	来館者の方に、利用しやすい・居心地がいい環境づくりを目指す。	季節感のある展示や飾り、ウインドウギャラリーの展示、グリーンカーテンや玄関周りに植物を置くなど、心地よさ・癒し等与えられる環境づくりを実施。	文化協会の団体や公民館講座生、地域のサークル、一般の方などのウインドウギャラリー利用出展を促す。
	公民館活動の情報発信	地域の住民に福岡公民館を知ってもらうために公民館から情報発信をする。	福岡公民館の活動内容やお知らせなどを、福岡公民館だより・ふくおかまちづくり協議会ホームページで情報発信する。	福岡公民館だよりは毎月カラーで全戸配付しPR。ホームページは、随時更新する。
	図書室の充実と活用	地域の図書館としての機能を充実させるとともに利用しやすい図書室を目指す。	利用しやすい図書室にするとともに、保育園・小学校・中学校などと連携し、利用者の増加を目指す。図書室まつりを開催し読書の普及に努める。	図書室の利用者、貸出冊数の推進を図る。小学校に配本をする。

令和7年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 蛭川 公民館

2 重点方針

- | | | |
|---------------------------|-----------------------------|------------------|
| 1 いつでも、だれでも、気軽に利用できる公民館に | … 地域づくり、人づくりの拠点を目指す | ☆蛭子座の積極的活用 |
| 2 楽しく学ぶ仲間づくりと生きがいの場に | … 様々な学習活動・機会の企画運営と支援 | ☆公民館講座の更なる充実 |
| 3 青少年が健全に成長できる環境づくりの取り組みを | … 学校・家庭・地域の連携を推進する | ☆地域学校協働活動（勤王未来塾） |
| 4 人と人とがふれあう仲間づくり・健康づくりの場に | … 気軽に参加できる文化・スポーツ活動の企画運営と支援 | ☆地域のネットワーク化 |

3 重点事業	事業名	ねらい	概 要	特記事項等
生涯学習	乳幼児学級【あそびの広場】	親子でのふれあいを通して、子育てと仲間づくりを支援する。	月毎の乳幼児学級で、遊びや学びの場を通して親子のふれあいや親同士の交流を行う。	実情や要望を把握して、楽しく・役に立つ企画に努める。
	公民館講座	講座を通して、仲間づくり、生きがいづくり、地域づくりへつなげる。	地域の絆づくり、健康づくり、文化教養講座を中心に、住民の学習要求に沿った学習機会を企画運営する。	各企画講座など、情報収集と選択肢拡大に努め、適切な時期をみて実施
	青少年健全育成活動	学校・家庭・地域の連携を通して、青少年の健全育成活動を推進する。	推進市民会議支部を中心に、PTAや地域諸団体と連携し、青少年健全育成活動の取り組みを行う。	なんでも塾支援、挨拶運動、夏祭り協力、二十歳を祝う会、見守り活動等
	高齢者学級【あじさい学級】	高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、学習活動を支援する。	月毎に開催し、講演会、各種教室、軽スポーツ、奉仕活動、研修旅行等を実施する。	軽スポーツ、奉仕作業、健康教室・体操、芸能、歌、寄せ植え、研修旅行等の実施
	なんでも塾 【小・中学生対象】	様々な体験、学習、交流を通して、子ども達の健全な成長を支援する。	地域講師から、伝統芸能、学習、軽スポーツ、自然観察、ものづくり、農業体験等を学ぶ。	定期塾（月毎）、フリー塾（テーマ毎に1～3回）を開講
文化	文化・芸能活動支援	蛭子座（公民館ホール）の活用を通して、文化・芸能活動の向上を図る。	地域イベント（11月）、文化展（11月）、蛭川歌舞伎公演（10月）、自主コンサート（2月）、文化団体の自主発表等に参加協力する。	蛭子座の積極的な活用を目指す「蛭子座友の会」「文化協会」との連携
	郷土資料保存伝承	文化財や遺産等の保護と後世への継承及び公開と活用を図る。	郷土資料館保存資料のデータベース化およびデジタルデータ化とその活用を進めていく。	資料館との連携、学校教育での活用、焦点化した資料の公開、発信
ス ポ ー ツ	スポーツ大会 スポーツ教室 健康づくり	様々なスポーツ活動の機会を通して健康づくりや地域の交流を図る。	地域の体育協会やスポーツ団体と連携し、地域スポーツやレクリエーションの運営を支援する。	ひとつばたごめぐり（5月）、スポレク祭（6月）、健康づくりの日（10月）、新春マラソン（1月）、各スポーツ教室等 公民館主催によるスポーツ行事の検討
運 営	公民館運営委員会	地域の生涯学習としての拠点としての公民館づくりの改善を進める。	公民館の活用について地域からの声を把握し利便性を図っていく。	地域づくりの観点で、運営委員会による評価を実施する。 指定管理者制度の導入を検討。